



臨床医学

第一外科学講座

講座のアピールポイント

当教室では「低侵襲治療」をキーワードに、「侵襲の少ない手術」として合併症の少ない安全かつ確実な手術を遂行するほか、内視鏡下手術を積極的に取り入れ、精度の高い手術が期待できるダビランチ Xi を用いたロボット支援下手術を導入しております。どの領域も体に負担の少ない低侵襲手術を柱に患者さんの希望に添った医療を提供できる体制を整えています。

こういった手術の結果を検証し、将来的にさらに手術が進歩するように、臨床と基礎との間をつなぐ研究を多く行っております。また、壬生や宇都宮近隣の開業医のかた方との医療連携を兼ねた講演会なども積極的に行っております。

講座研究紹介

補助療法（化学療法、放射線療法など）に関する研究

当科では手術を中心とした治療を行っておりますが、手術との組み合わせで化学療法や放射線療法も行っております。これらの治療を手術治療の対象とならない患者さんに対して行うこともあり、また再発した場合などでも同様に行う場合があります。こういった治療法の成果を広く公表していくことで、こういった患者さんにどのような治療を行うのが適切であるかなど、広く情報共有を行うことができます。またそういった成果をもとに、新しい治療法を提案することも可能となります。新規に開発された薬剤や、新しい組み合わせの治療法なども臨床試験として積極的に導入しています。